

学名	年度・月	静的筋力			瞬発的筋力				全身持久力			敏捷性		柔軟性			
		握力		背筋力	50m走	ハンド ボール 投げ	立幅 跳び	垂直 跳び	持久走 男1500m 女1000m	踏み台昇降			斜め 懸垂	反復 横跳び	立位 体前屈	伏臥 上体 反らし	
		(kg)								(kg)	(秒)	(m)					(cm)
		63・4	元・4	2・10	3・10	右	左										
高	TM (男子)																
		18,5A	18,0A	0A	10'7A	8A	123A	20A	11'04A	53	42	41	25A	20A	9A	45A	
		25,0A	23,5A	20A	9'9A	8A	124A	23A	9'54A	33	33	35		21B	9A	50A	
	NS (男子)	23,5A	25,0A	40A	11'7A	9A	142A	26A	13'03A	20	26	14	21A	11A	10A	50A	
		32,5A	29,0A	51A	9'4A	17A	160A	33A		35	34	38	8A	25A	-7A	46A	
		33,0A	34,0A	52A	9'6A	15A	156A	42A	7'20A	43	38	37	20A	24A	-1A	45A	
	HY (男子)	40,0A	40,0A	82A	7'7A	19A	204A	47A	5'51A	33	33	31	30A	31A	-4A	55A	
		34,5A	38,0A	113A	7'9A	18A	199A	48A	6'14A	48	44	45	23A	16A	4A	55A	
		26,0A	25,5A	46A	10'2A	13A	146A	22A		35	36	34	16A	21A	-14A	21A	
	KO (男子)	28,0A	27,0A	67A	10'1A	12A	153A	27A	8'37A	32	32	27	22A	20A	-15A	20A	
		29,5A	32,0A	91A	8'6A	14A	158A	34A	6'47A	38	40	41	20A	19A	-21A	32A	
		28,5A	28,0A	97A	8'3A	17A	157A	23A	7'25A	38	37	37	30A	9A	-20A	23A	
MN (男子)	23,0A	25,0A	75A	10'4A	8A	155A	21A	10'02A	42	31	31	20A	24A	-14A	28A		
	28,0A	25,0A	41A		12A	137A	32A						19A	-18A	40A		
	25,0A	21,0A	83A	不参加	9A	142A	25A	不参加	44	47	47	21A	11A	-15A	40A		
MN (女子)	21,5A	24,0A	16A	11'3A	11A	142A	25A	8'41A	38	38	35	32A	15A	6A	40A		
	23,5A	19,5A	32A	9'8A	14A	165A	29A	6'47A	29	29	31	31A	31A	3A	43A		
	22,0A	20,5A	68A	10'2A	15A	165A	28A	7'26A	46	45	46	51A	16A	7A	45A		
sty (女子)	25,5A	21,0A	18A	10'2A	9A	129A	24A	5'03A	30	29	27	30A	16A	6A	40A		
	24,5A	22,5A	22A	8'9A	11A	162A	31A	4'20A	25	24	25	30A	22A	7A	46A		
	14,5A	13,0A	50A	8'4A	11A	148A	21A	4'30A	31	31	34	60A	11A	7A	51A		
KT (女子)	14,0A	8,0A	0D	28'6A	2B	0D	0D				E	0D		-11A	13C		
	5,5A	5,5A	0D	49'7B	2B	0D	0D		-	36	37	0D	8C	-28A	22C		
	5,0C	4,0C	0D		2B	67B	0D		-	-	30	0D	6C	-30A	28C		
sky (女子)	7,0A	0D	8B	46'4A	1C	25B	0D	15'12C	41	39	35	E	5C	-20C	5C		
	17,0A	15,5A	0D	11'7A	5A	106A	17A		42	43	35	7A	20A	12A	40A		
	19,5A	16,5A	6A		5A	110A	19A	8'32A	61	51	39	10A	20A	4A	36A		
HO (女子)	20,0A	20,5A	2A	11'9A	7A	105A	22A		39	34	34	10A	16A	1A	40A		
	17,0A	17,5A	67A	11'1A	5A	123A	16A	9'07A	50	45	43	20A	11A	11A	53A		
	3,5A	6,0A	0D	32'2B	2B	31B	0D				E	E		-1A	39A		
HO (女子)	4,0A	5,0A	0D	85'3B	2B	25B	0D		24	27	28	0D	8C	-20A	35A		
	5,0C	4,0C	8B	46'4A	1C	25B	0D	15'12C	41	39	35	E	5C	-20C	5C		
	26,5A	25,5A	15A	12'2A	7A	122A	28A	6'46A	43	36	36	1A	16A	-7A	37A		
HO (女子)	31,0A	26,0A	11A	10'3A	7A	122A	33A	6'20A	36	32	33	2A	19A	-8A	35A		
	31,0A	26,5A	61A	10'5A	8A	126A	27A	5'39A	38	34	36	1A	11A	-4A	50A		

* 記号について

- A……一人ですべてできた(全く補助がいらなかった)
- B……主として、声かけや伴走で補助した(身体には触れず、指示などがあればできた)
- C……主として、直接手を引いたり、一緒に動いた(動作を手伝った)
- D……やろうとしたができなかった(測定に参加できたが、記録にならなかった)
- E……全くできなかった(測定そのものに参加できなかった)

◎ □ ……個人事例で取り上げた生徒

平成2年度・3年度 朝の活動（10分間走）の記録

学年	名前	性別	4 め あ て	5 め あ て	6 め あ て	7 め あ て	9 め あ て	10 め あ て	11 め あ て	12 め あ て	13 め あ て	14 め あ て	15 め あ て	16 め あ て	17 め あ て	18 め あ て	19 め あ て	20 め あ て	21 め あ て	22 め あ て				
1年	T・Y男		19	20	26	29	12	23	24	25	31	12	27	3	17	26	30	31	2	8	13	14		
	T・O男																							
	Ma・U男		13	12	13	14	13	14	13	14	13	14	13	14	13	14	13	14	13	14	13	14	15	
	Mu・U男																							
	K・M女		3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	
	K・T女		5	3	6	3	6	3	6	3	6	3	6	3	6	3	6	3	6	3	6	3	6	5
	T・Y女		12	11	11	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	13
	A・O女		5	5	5	4	5	4	5	4	5	4	5	4	5	4	5	4	5	4	5	4	5	3
	H・T女		7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7
	S・N男		4	3	3	4	3	4	3	4	3	4	3	4	3	4	3	4	3	4	3	4	3	4
2年	M・T男		10	9	12	12	11	13	10	11	10	12	11	10	12	11	10	12	11	10	12	11	10	
	H・K男		13	11	10	12	13	13	13	13	14	14	14	13	15	14	13	15	14	13	15	14	13	
	H・M男		8	6	7	5	8	6	4	6	6	4	2	5	7	5	4	7	6	6	7	6	5	
	Y・N男		10	9	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	
	H・Y男		9	8	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	
	S・M女		8	7	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	9
	K・N女		7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	
	K・S女		4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4
	T・M男		9	8	10	9	9	8	7	10	9	7	9	9	10	8	10	8	7	10	9	8	7	8
	N・S男		14	13	15	14	15	14	15	14	15	14	15	14	15	14	15	14	15	14	15	14	15	14
3年	H・Y男		13	9	12	11	13	12	13	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	13	
	Ma・N男		12	11	10	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	
	K・O男																							
	Mi・N女		13	13	12	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	
	St・Y女		4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	
	K・T女		4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	
	Sk・Y女		2	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	
	H・O女		9	8	9	8	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	10
	K・O男																							

・数値は竹ぐしの数（1本……150m） ○印はめあてを達成した場合

職業科における評価の基準表について

(1) 各評価項目の内容

〈作業技能〉

- 確実性——指示に従い、不良品が出ないように丁寧に作業する。
- 作業速度——量産を意識して、能率よく作業を進める。
- 操作力——作業で使用する道具の使い方がわかり、うまく使いこなすことができる。
- 判別する力——不良品を見分け、区別することができる。

〈作業意欲・態度〉

- 情緒の安定——失敗をしたり注意を受けたりしても、自分の欲求や感情を調整して安定したむらのない態度で仕事をする。
- 自発性——自分から進んで作業にかかり、意欲的に取り組む。
- 持続性——決められた時間内、最後まで粘り強く作業に取り組む。
- 表現力——適切に報告・質問をしたり、自分の意志・要求を伝えたりすることができる。

(2) 使用上の留意点

- 個人内評価であり、他者と比較するものではない。
 - ・ 個人の中の落ち込みなどを見つけ、それによって指導の手立てを考える。
 - ・ 実践の積み上げによる変容を見る。
- どの項目も3段階を一応の目安とし、特定の落ち込みのない形であることが望ましい。さらに、4、5段階になることが望ましい。
- 責任感、見通す力、創意性、理解力については、そのみを評価基準に当てはめて評価しないがこれらも加味して文章表現をして、生徒の実態や変容をより具体的に示すものとする。

(3) 問題点

- あくまでも個人内評価であり、また、指導者の主観も入りやすいため（指導者による要求水準の違い）、客観性に乏しい。
- 確実性、作業速度等の各評価項目自体の内容があいまいであるため、どのようになれば確実なのか、どのような速さが能率的であるといえるのかなどのめやすがつけにくく、指導者の主観に頼らざるをえない。
- 同一作業を繰り返し継続した場合でないと評価しにくい。そのため、各コースの中にはそれに該当しにくいものがある。




(4) 今後の課題

- より客観的に評価していけるような評価項目の内容の吟味をする。
- 評価の活用法の検討をする。
- 自己評価をさせる場面と方法の開発をする。

職業科（作業技能・作業意欲・態度）における評価の基準表（試案）

作業内容	作業 1 コース		作業 2 コース		製作コース		技能コース	
	農園	軽作業	紙	工	木	工	印	刷
作業内容	うねづくり ・種苗の植付け ・移植 ・栽培管理（水やり、除草）	銅線のヒニールはがし ・型抜き ・後片付け、掃除 ・運搬（製品、ごみ）	道具、場所の準備 ・型抜き ・後片付け、掃除 ・運搬（製品、ごみ）	材料の固定用箱 ・はうき、ちりとり ・ごみの収集箱	材料の選択 ・けがき ・材料取り（切断） ・加工（木工ろくろ、糸のこ）	磨き ・集計 ・納品、販売	受注 ・コミ、インテル ・文選、返し ・組版、解版	・刷り、製本 ・包装、納品 ・実務（請求書、受付簿）
道具等	・畝、かま ・一輪車 ・ホース、ジョーロ ・移植こて	・銅線 ・カッターナイフ	・はうき、ちりとり ・ごみの収集箱	・まんりき ・のこぎり ・サンドペーパー、ぬか袋 ・糸のこ	・木工ろくろ ・ものさし、曲尺		・活字（拾い箱、返し箱） ・辞書（へん、つくり表） ・組版（組版台、インテル） ・印刷機、裁断機、製本機	
基準段階	A. 確実性 指導者につききりでも、確実に作業を進められない。	B. 作業速度 早く作業をしよとす意識がない。	C. 操作力 簡単な道具も使用しない。	D. 判別する力 不良品が全くわからない。	a. 情緒の安定 ささいなことでも泣いたり立腹したりして、作業をしない。	b. 自発性 動作介助をすれば、その時だけ取り組む。	c. 持続性 全く続かない。	d. 表現力 全く報告しようという意識がない。
行動及び拒否	0	1	2	3	4	5	6	7
動作による介助	作業中、手をとって指導すれば、その時だけ何とかやれる。	指導者につききり指導している間は、作業を早く進める。	声かけがあれば、作業を早く進める。	声かけをひんぱんにすると、どうか確実に作業が出来る。	日頃経験している作業であれば、確実に作業が出来る。	日頃経験している作業と類似した作業であれば、時々見てやれば確実に出来る。	日頃経験している作業と類似した作業であれば、適切な報告、質問、要求が言える。	日頃経験している作業と類似した作業であれば、適切な報告、質問、要求が言える。
言語による介助	声かけをひんぱんにすると、どうか確実に作業が出来る。	声かけがあれば、作業を早く進める。	声かけと指示をすれば、一定の道具を使いこなすことが出来る。	日頃経験している作業であれば、一人で使っていこなすことが出来る。	日頃経験している作業と類似した作業であれば、不安定して作業が出来る。	日頃経験している作業と類似した作業であれば、自発的な取り組みが見られる。	日頃経験している作業と類似した作業であれば、最後まで持ち場を離れず、作業を続ける。	日頃経験している作業と類似した作業であれば、適切な報告、質問、要求が言える。
同一場面	日頃経験している作業であれば、確実に作業が出来る。	日頃経験している作業であれば、一人で使っていこなすことが出来る。	日頃経験している作業と類似した作業であれば、不良品がわかり区別できる。	日頃経験している作業と類似した作業であれば、不良品がわかり区別できる。	日頃経験している作業と類似した作業であれば、安定して作業が出来る。	日頃経験している作業と類似した作業であれば、自発的な取り組みが見られる。	日頃経験している作業と類似した作業であれば、最後まで持ち場を離れず、作業を続ける。	日頃経験している作業と類似した作業であれば、適切な報告、質問、要求が言える。
類似した場面	日頃経験している作業と類似した作業であれば、時々見てやれば確実に出来る。	日頃経験している作業と類似した作業であれば、確実に作業を進める。	日頃経験している作業と類似した作業であれば、不良品がわかり区別できる。	日頃経験している作業と類似した作業であれば、不良品がわかり区別できる。	日頃経験している作業と類似した作業であれば、安定して作業が出来る。	日頃経験している作業と類似した作業であれば、自発的な取り組みが見られる。	日頃経験している作業と類似した作業であれば、最後まで持ち場を離れず、作業を続ける。	日頃経験している作業と類似した作業であれば、適切な報告、質問、要求が言える。
新しい場面	始めに指示されれば、新しい作業であっても確実にできる。	始めに経験する作業であれば、指示がなければ、できるだけ早く作業を進める。	初めに使う道具（より高度なもの）でも使いこなすことが出来る。	初めに指示されれば、初めての作業であっても、不良品がわかり区別できる。	新しい場面においても自分の気持ちで作業を続けることが出来る。	かなり複雑な初めての作業であっても、自発的に取り組む。	初めての作業でも、最後まで持ち場を離れず作業を続ける。	新しい場面においても適切な報告、質問、要求が言える。

〈職業科「コース別」における変容例〉

..... 4月  4月の実態
 —— 9月  9月までの変容
 3段階に到達していない部分

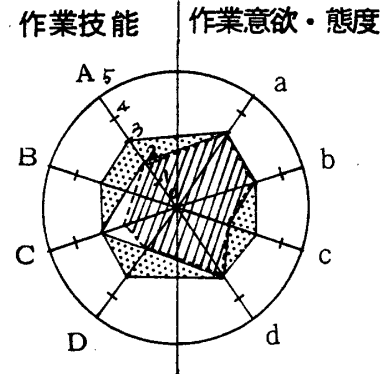
▶ 作業技能

- A、確実性
- B、作業速度
- C、操作力
- D、判別する力

▶ 作業意欲・態度

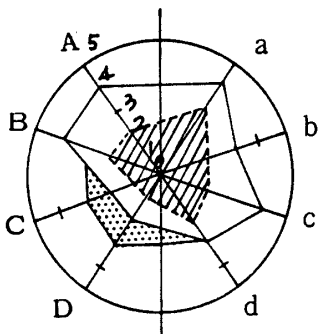
- a、情緒の安定
- b、自発性
- c、持続性
- d、表現力

作業1コース(高3男、T・M)



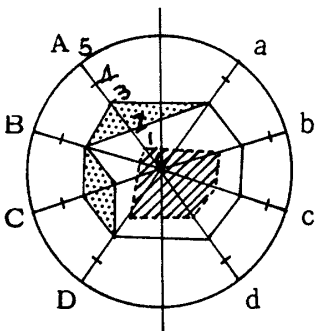
働こうとする意欲はあるが、技能や態度が伴っていない。特に、思いこみの強い性格のため、指示したことが伝わっていないことが多く自分勝手な作業をしてしまいがちである。また、まわりのことが気になって集中力や持続力を欠いている。4月当初よりあまり変化はみられないが、作業の見通しがたつようになるにつれて少しずつではあるが技能が向上している。

作業2コース(高2男、S・N)



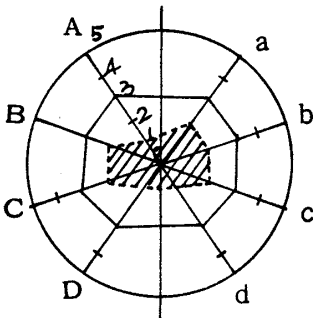
4月当初は、一つひとつの作業をするのに声かけや介助を必要とし、材料を口に入れたりいためたりすることもあったが、同じ作業を繰り返し経験しその都度意識付けを続けていくうちに、徐々にではあるが一人でもかなり正確に、また一定の速度で時間一杯作業に取り組むことができるようになってきた。道具を使ったり不良品を見分けたりすることも徐々にできるようになってきた。

製作コース(高2男、H・Y)



自分本位な言動が多く、作業中でも指導者の助言や注意を受け入れないこともあった。従って、指示通りに活動できないために不良品を作ってしまった。自分勝手な行動は認めず、厳しい雰囲気の中に入れることで、直接注意を与えなくとも集団の力で作業意欲や態度に変容が見られた。それに伴って作業能率も向上した全体に筋力が弱いために道具の操作が難しい傾向がある。

技能コース(高1男、M・U)



4月当初は、活版印刷の技能未習熟からくる数値の低さが、作業技能面に見られる。技能習得の未熟さは作業意欲面にも大きく影響し、ここでも又低い数値となっている。学習を重ねる毎に、作業工程が理解でき、技能も向上していくことに伴ない責任感、見通す力、創意性も少しずつ向上してきた。活版印刷の作業工程は多種にわたるため、これらの習得により拡大が期待される。